

中国春季リーグ戦女子2部結果報告

広島大学体育会バレーボール部同窓生の皆様

(同窓会連絡フォームへ登録いただいた皆様及び同窓会やコートの仲間等でご連絡いただいた皆様へお送りしています。)

いつも大変お世話になっております。

広島大学体育会バレーボール部です。

4/22、23に岡山県水島緑地福田記念公園体育館において、中国春季リーグ戦男女2部が開催されました。

広島大学女子の結果は、以下のとおりです。

vs 岡山大学

○2-0 (25-8、25-14)

vs 川崎医療福祉大学

○2-0 (30-28、25-16)

vs 美作大学

○2-0 (25-20、25-22)

vs 山陽学園大学

○2-0 (25-19、25-22)

vs 山口大学

●0-2 (19-25、11-25)

1位 山口大学

2位 広島大学

3位 川崎医療福祉大学

4位 山陽学園大学

5位 美作大学

6位 岡山大学

(広大バレー部 Twitter)

<https://twitter.com/hirodaiVOLLEY>

新1年生として、レフトの岩永、レシーバーの大嶋、マネージャーの増田を迎え、プレーヤー10人、マネージャー3人で臨みました。

2週間前に高校生に負け続けた練習試合から、チーム状況が大きく変わったとまでは言えない中でしたが、試合順や試合展開に非常に恵まれ、最終戦の1セット目まで実力以上の結果を残し続けました。山口大学、そして川崎医療福祉大学には、10点取れるかどうかくらいの力差を感じていただけに、「奇跡」や「感動」の言葉が相応しいリーグ戦だったと思います。

フロントでの得点が計算できるプレーヤーが大前一人の状況でしたが、有馬がサーブで崩し、矢野が軟打を拾い、消耗戦の中で相手のミスを誘うバレーは、勝つためにできる唯一の選択肢でした。コート内はタフな時間だったと思いますが、入替戦という結果を勝ち取ったのは、矢野の声でありプレーであり、チームのベースラインを作り続けてきた矢野の普段の努力の賜物だと思います。自分の役割を自覚し、それを全うし続けられると、いずれ必ず結果がついてくることを証明してくれました。どんな場面でも決して諦めない姿は、メンバーの心を何度も奮い立たせただけでなく、ご声援いただいた方々の心も動かしたに違いありません。

また、新1年生の岩永は、初出場とは思えないほど、プレーでもムードでもチームに貢献し、山口大学戦で見せたストレートには広大な未来を感じました。大嶋も既にリベロとして全く遜色なく、今後は様々なポジションでも期待が持てる有望株です。1年生は練習すればするほど伸びる時期ですので、日々の練習からたくさんのお話を吸収して欲しいと思います。

現状は怪我を抱えたプレーヤーがたくさんいるため、まずはコンディションを整えることが今シーズンを戦い抜く上で重要になりますが、たとえ状態が万全だったとしても、秋リーグで入替戦に出場することは非常に困難だと言わざるを得ません。山大、川崎医療とは決定的な差があり、1部チームともなるとその遥か先にいます。勝ちたい想いだけではどうしようもありません。自分たちの目標が理想になっていないか改めて考え直し、一人一人の考え方や行動を見つめ直して欲しいと思います。

最後に、春リーグに向けては、高校の顧問をされている同窓生の皆様に、たくさん練習試合をしていただきました。

皆様からの温かく、そして熱いご指導をいただいたからこそ、素晴らしいリーグ戦となりました。誠にありがとうございました。

今後も継続的に交流させていただきたいと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。